

新北海道スタイル
デジタルイノベーションプログラム

DIGITAL INNOVATION PROGRAM

 新北海道スタイル

実証実験実施中

ライフスタイルの変革から
ビジネススタイルの変革へ。

いつも根室交通をご利用いただき誠にありがとうございます。

只今、当社では北海道庁主催の「新北海道スタイルデジタルイノベーションプログラム」へ採択され、2023年3月まで(株)enstem社と共同でNobi for Driverを利用した実証実験を行っております。

Nobi for Driverは乗務員の心拍データをスマートウォッチで計測し、独自のAIによって集中力の低下や心神喪失を未然に警告・通知する仕組みです。通知を受けた乗務員は、警告の段階または自身の体調により、

ただちに停車するように指示しております。

※停車後、異常が無ければ運行を再開いたします。(約1~2分)

より安全な運行を行うための実証実験ですので、ご迷惑をおかけする場合がございますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



enstem社Nobi for Driver
説明Webページ

<https://lp.nfd-app.com/>

【根室交通×enstem】

本土最東端で、心拍データを活用して健康起因の事故リスクを減らす！



— 根室交通株式会社 —

運行中の異常発生時の停車についてのお願い

いつも根室交通をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当社では「安心・安全」な運行を目指し、事故防止に対しては全従業員で日々努力している所であります。

事故の主な原因として不注意、操作不良、車両不具合などの他に災害や運転者の健康状態に起因する原因があります。特に乗務員の心神喪失による事故は、車両の暴走を伴い乗客乗員はもとより歩行者や、他車をも巻き込む大事故に至ってしまうことがあります。

バス乗務員は高齢化や不規則な生活により持病を持つ者が大半です。日頃の健康管理により適切な治療を受けておりますが、健康障害リスクは常に付きまといまいます。

健康状態に起因する事故は、運転者の我慢から発生しているものが大半だと推察します。「ちょっといつもと違うけど、まあ大丈夫だろう」「苦しいけど、もうちょっとで目的地だし我慢しよう」「ここで運転を止めたら多くの人に迷惑がかかる」など、周囲や同乗者への気遣い、仕事に対する責任感から運転を続ける事により発生してしまうと考えられます。

教育指導により異変を感じたら停車する事は当社でも実施しておりますが、上記の責任感から実際に停車に至るまでには相当の勇気が必要です。車両や体調に異変を感じている乗務員に対し、運行中止への後押しができるシステムを構築し、バスが止まる事が当たり前になれば乗務員の停車に対する抵抗が減り、事故の減少に繋がるものと考えます。

この度、そのシステム構築の鍵となる enstem 社様の Nobi for Driver に北海道庁主催の「新北海道スタイルデジタルイノベーションプログラム」を通じ出会い、実証実験を行える運びとなりました。

Nobi for Driver を使用することで運転者と管理者の双方が情報をリアルタイムに共有し安全運行のフォローアップが成されるものと期待します。

また Nobi for Driver の実証実験を行う事により、従業員の健康に対する意識の変化も期待されるところです。

お客様におきましては、この安全システム構築への一翼を担って頂き、運行中の安全確認のための停車に対して、ご理解とご協力をお願い致します。

令和5年1月24日

根室交通株式会社 代表取締役 岡野 将光